



2020年8月4日

各位

会社名 ヤマハ株式会社  
代表者名 代表執行役社長 中田 卓也  
(コード番号 7951 東証第1部)  
問合せ先 コーポレート・コミュニケーション部長 瀧澤 勉  
(TEL 053-460-2210)

## 2021年3月期 第1四半期業績の概要と通期業績予想について[IFRS]

### □ 第1四半期業績の概要 — 対前年同期減収・減益 —

2021年3月期 第1四半期の売上収益は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う影響により、為替影響による減収△24億円を含め、前年同期に対し277億円(27.9%)減少の718億円となりました。事業利益は、全ての事業で減収により大幅な減益となったことから、全体では為替影響による減益△7億円を含め、前年同期に対し97億円(89.5%)減少の11億円となりました。親会社の所有者に帰属する四半期利益は、事業利益の減少に加え、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う操業停止損25億円の計上等により、18億円の損失(前年同期は73億円の利益)となりました。

#### <事業セグメント別の売上収益・損益の状況>

##### ● 楽器事業

売上収益 466億円(前年同期比 30.9%減) 事業利益 25億円(前年同期比 74.5%減)

アコースティックピアノと管楽器は、店舗閉鎖等の影響を受け減収となりました。EC販売の比率が比較的高いギターは、国内や欧州で増収となり前年並みの売上げを確保しました。また電子楽器は、北米で増収となりましたが全体では減収となりました。

セグメント全体の売上収益は、前年同期に対し△18億円の為替影響を含め、209億円の減収となりました。事業利益は、△6億円の為替影響を含め、73億円の減益となりました。

##### ● 音響機器事業

売上収益 195億円(前年同期比 21.3%減) 事業損失 11億円(前年同期は9億円の事業利益)

オーディオ機器は、国内と北米は増収でしたが全体では減収となりました。業務用音響機器は、ライブ市場や設備市場の縮小により減収となりましたが、国内の音響設備工事は納入が進み増収となりました。ICT機器は国内の会議システム需要増により増収となりました。

セグメント全体の売上収益は、前年同期に対し△6億円の為替影響を含め、53億円の減収となりました。事業利益は、△1億円の為替影響を含め、20億円の減益となりました。

##### ● 部品・装置、その他の事業

売上収益 56億円(前年同期比 21.7%減) 事業損失 3億円(前年同期は1億円の事業利益)

電子デバイスは増収となりましたが、FA機器は市況回復が遅れ減収となりました。

セグメント全体の売上収益は、前年同期に対し16億円の減少となりました。事業利益は、4億円の減益となりました。

## □ 2021年3月期 通期業績予想・配当予想

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大が当社グループに与える影響の不確実性が高く、合理的に算定することが困難であることから未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき連結業績予想を算定いたしましたので公表いたします。

新型コロナウイルスの感染拡大による今後の影響につきましては、現時点においても依然として不確実性が高い状況が続いておりますが、当第3四半期から緩やかに改善が進んでいくと想定しております。

以上を前提とし、2021年3月期の通期業績予想は、売上収益 3,550億円（前期比 14.3%減）、事業利益 250億円（前期比 46.1%減）、親会社の所有者に帰属する当期利益 160億円（前期比 53.8%減）といたします。

配当予想は、継続的かつ安定的な配当を行うという方針に基づき、前期と同額の年間66円といたします。

注1) 事業利益とは、売上総利益から販売費及び一般管理費を控除して算出した日本基準の営業利益に相当するものです。

注2) 文章中の売上収益、損益の数値は、原則として億円未満四捨五入で記載しております。

以上

2021年3月期 第1四半期業績資料 <IFRS>

ヤマハ株式会社  
2020年8月4日

(1) 主要財務指標

	前期第1四半期実績 (19/4月-6月)	第1四半期実績 (20/4月-6月)	前期実績 20年3月期	当期予想 21年3月期
	20年3月期	21年3月期	20年3月期	21年3月期
売上収益	995億円	718億円	4,142億円	3,550億円
うち国内	294億円 (29.6%)	204億円 (28.4%)	1,236億円 (29.8%)	990億円 (27.9%)
うち海外	701億円 (70.4%)	514億円 (71.6%)	2,906億円 (70.2%)	2,559億円 (72.1%)
事業利益 <sup>(*)</sup>	108億円 (10.8%)	11億円 (1.6%)	464億円 (11.2%)	250億円 (7.0%)
営業利益	111億円 (11.2%)	△15億円 (△2.1%)	433億円 (10.5%)	225億円 (6.3%)
税引前利益	110億円 (11.1%)	△17億円 (△2.4%)	472億円 (11.4%)	237億円 (6.7%)
当期利益 <sup>(**)</sup>	73億円 (7.3%)	△18億円 (△2.5%)	346億円 (8.4%)	160億円 (4.5%)
為替レート(決済レート) <sup>(***)</sup>	111円/US\$ 126円/EUR	108円/US\$ 121円/EUR	109円/US\$ 122円/EUR	108円/US\$ 120円/EUR
ROE	8.3%	△2.2%	10.1%	4.8%
ROA	5.8%	△1.5%	7.0%	3.4%
1株当たり利益	40.8円	△10.3円	194.7円	91.0円
設備投資額 (減価償却費)	38億円 (27億円)	31億円 (28億円)	205億円 (112億円)	148億円 (118億円)
研究開発費	61億円	61億円	248億円	240億円
(キャッシュフロー)				
営業活動	72億円	△14億円	572億円	260億円
投資活動	△41億円	21億円	△211億円	△100億円
フリーキャッシュフロー	31億円	6億円	361億円	160億円
期末在庫高	1,046億円	1,008億円	1,001億円	950億円
(要員数)				
国内	5,843人	5,792人	5,623人	5,600人
海外	14,606人	14,431人	14,580人	14,400人
正社員計 <sup>(***)</sup> (連結範囲変動による増減)	20,449人 -	20,223人 -	20,203人 -	20,000人 -
正社員外要員(期中平均)	8,128人	7,672人	8,064人	7,800人
(事業別売上収益)				
楽器	675億円 (67.9%)	466億円 (65.0%)	2,694億円 (65.0%)	2,280億円 (64.2%)
音響機器	248億円 (24.9%)	195億円 (27.2%)	1,144億円 (27.6%)	1,000億円 (28.2%)
その他	72億円 (7.2%)	56億円 (7.8%)	305億円 (7.4%)	270億円 (7.6%)
(事業別事業利益 <sup>(***)</sup> )				
楽器	98億円	25億円	378億円	200億円
音響機器	9億円	△11億円	86億円	50億円
その他	1億円	△3億円	0億円	0億円

(2) 売上収益の内訳(事業別、地域別)

21年3月期 第1四半期累計実績 (20/4月-6月)	楽器		音響機器		その他		合計	
	売上収益	前期比 <sup>(***)</sup>	売上収益	前期比 <sup>(***)</sup>	売上収益	前期比 <sup>(***)</sup>	売上収益	前期比 <sup>(***)</sup>
日本	106億円	54%	59億円	125%	39億円	76%	204億円	69%
北米	105億円	84%	53億円	95%	6億円	64%	164億円	86%
欧州	90億円	81%	47億円	62%	1億円	97%	138億円	73%
中国	95億円	81%	14億円	66% (74%)	3億円	69%	112億円	78%
その他	71億円	69%	22億円	57%	7億円	134%	100億円	68%
合計	466億円	72%	195億円	81% (82%)	56億円	79%	718億円	75%

\*1 事業利益とは、売上総利益から販売費及び一般管理費を控除して算出した日本基準の営業利益に相当するものです。

\*2 当期利益＝親会社の所有者に帰属する当期(四半期)利益

\*3 為替レートは、利益に影響を及ぼすヤマハの輸出入決済レートを記載しています。

\*4 要員数＝期末社員在籍数

\*5 前期比は為替を除いた実質ベースでの比較、()内はOEM向けを除いた前期比増減を表しています。

連結業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の連結業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。